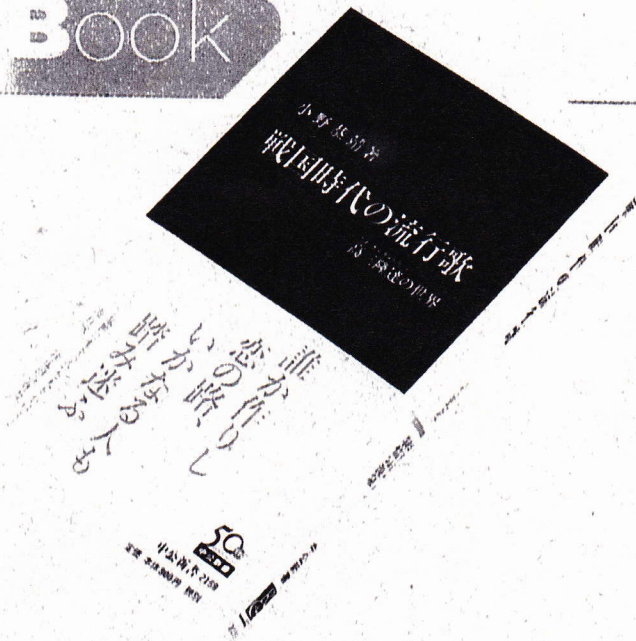


invitation paper, movie, book

BOOK



高三は、苗字。高三隆達で
タカサブ・リュウタツと
読む。高校3年生ではな
い。ではないが、高校生が夜の校
舎の窓ガラスを壊してまわる世界
とまんざら無関係でもない。隆達

君は戦国の尾崎か長湊か 高三隆達の無常ラブソング

小野恭靖『戦国時代の流行歌 高三隆達の世界』
中公新書 本体800円

は、桃山文化の一翼を担ったシン
ガーソングライターであり、尾崎
豊や長湊剛のはるかな先達にあた
る存在だからだ。もちろん録音の
無い時代ゆえ、彼が歌った隆達節
の具体相は急速に忘れられ、近世
歌謡のトップランナーとしての名
前だけが喧伝され続けた。伝説の
霧の中から隆達の実像を甦らせよ
うとしてきた著者は、隆達節の歌
詞が、侘び茶の精神とも深い繋が
りを持つことを明らかにする。隆
達は堺の有力町衆の一員であり、
利休周辺の人脈にも連なっていた
のだ。本書には多数の歌詞が引か
れており、アンソロジーとしても
楽しめる。本の帯の歌もいいです
がもう1首だけ。へ比翼連理の語ら
ひも、心変はれば水に降る雪ぐ。
「水に降る雪」の比喩が秀逸。